

梅木 加津子 議員



一括質問方式

- ① 地域公共交通
- ② 子育て支援
- ③ 阿蔵高山残土処理場事業計画
- ④ 光ファイバー
- ⑤ 危機管理
- ⑥ 農林業の振興
- ⑦ かわかみ荘

地域公共交通について

問 二宮市長は、選挙の公開討論会で、公民館などに予約を取りま

とめる窓口を設置し、空白地域へのサービスを500円の運賃体系で考えていると語られたが、具体的な構想とスケジュールをお示し願いたい。

答 周辺部の交通体系の進め方は各自治会等の要望に基づき、現状

や必要性などについて地区の皆様と勉強会を開催し、その上で実証運行となった場合には、乗降場所や目的地、時刻表などを協議いただき、市も一緒に実証運行計画を作成することとしています。

複数の方が同乗していただく仕組みづくりを前提として距離に応じた運賃を設定し、メーターと利用者が支払った運賃の差額を市が補助する方法を検討しています。

なお、各自治会に公共交通の構築に向けて話し合いの場の設置をお願いする文書を送り、既に南久米地区では勉強会を開催したところですので、その他の自治会も気軽に市役所までお問い合わせいただきたいと思います。

阿蔵高山残土処理場事業計画について

問 阿蔵高山残土処理場建設事業計画については、平成30年に伊予

市から内子五十崎IC間の明神山トンネルを含む6.3キロ間の建設発生土2万7,300立米が阿蔵高山残土処理場へ搬入されるが、搬入

ルートを学校関係者に説明されたのか。また、6月の只越地区の説明会でも、地盤沈下や騒音、粉じん対策などでPM2.5が測定できる機器を購入してほしいなど、不安の声が出されたが、どのように対応されるのか。

答 学校への説明は順次実施する予定ですが、まずは小・中学校の

校長会等で実施したいと考えています。その後、搬入ルートが通学路になっている小・中学校及び高等学校に対し個別に説明を行い、児童・生徒の安全対策等の徹底を図りたいと考えています。

また、周辺住民への説明会は、久米地区全体や搬入路となる只越地区での説明会をこれまでに3回実施し、安全対策や騒音対策等の要望に對してできる限り対策を図り、負担軽減や不安解消に取り組んでいきたいと考えています。

光ファイバーについて

問 内子町では、町内全域で光サー

ビスに加入できる環境を整備したいと5億5,000万円が予算化され、久万高原町でも6月議会で4億円が予算計上されている。

本市では、新谷、喜多山、柳沢、平野、南久米、蔵川、豊茂、櫛生、柴の各地区などで光ファイバーがなく、脇川地域では、DSLサービスが使えなくなる。また河辺地域では、SDNのままであるが、光ファイバーの線は、支所や各学校、主な集会所に配線されている。他の自治体のように、配備すべきと思うがどうか。

答

これまでインターネット環境を快適にするためには、各戸で光ケーブルを引き込むしか方法はありませんでしたが、現在では、無線通信技術の向上により民間の携帯通信事業者が、光通信に迫る高速通信を実現し、急速に普及しています。こういった無線通信のエリア拡大と技術進歩により、今後一層、通信の高速が進展すると思われるため、本市では、民設民営を基本とし、市の光ケーブルの空き芯線を利用して通信エリアを拡張していただく方針で、インターネットの環境整備を進めていきたいと考えていますが、有線での光通信網の整備も、改めて調査研究を行い、年度内には今後のブロードバンド通信の整備方針を決定していきたいと考えています。